

教科名	公民		学年	3	教科書 補助教 材等	7実教 政経312
科目名	政治・経済（必修）		単位数	2		
科目担当者	武藤 亮・宮澤 豪					
科目の 到達目標	1民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。 2政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。 3公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	民主政治の基本原理	・ 基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何か考える。		5	
	5	日本国憲法の基本的性格	・ 日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。		5	
	6	日本の政治機構	・ 日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解するとともに、他の国の制度とくらべて今後の		8	
	7	現代日本の政治	・ 戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治がかかえる問題について考える。		8	
二 学 期	9	現代の国際政治	・ 国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考え		8	
	10	経済社会の変容	・ 経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。		8	
	11	現代経済のしくみ	・ 経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。		8	
	12	現代経済と福祉の向上	・ 商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。		8	
三 学 期	1				0	
	2				0	
	3				0	
年間授業 時間数計	58		1学期 26	2学期 32	3学期 0	
学習上の留意点	実際の新聞記事やニュース映像等を利用することで、自分たちの身近に起きている社会事象を学んでいるという臨場感を持たせる。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	・ 現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。				・ 授業態度 発問評価 定期考査	
思考・判断・表現	・ 現代の政治、経済、国際関係の課題を見いだし、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断している。					
資料活用の技能	・ 現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。					
知識・理解	・ 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。					